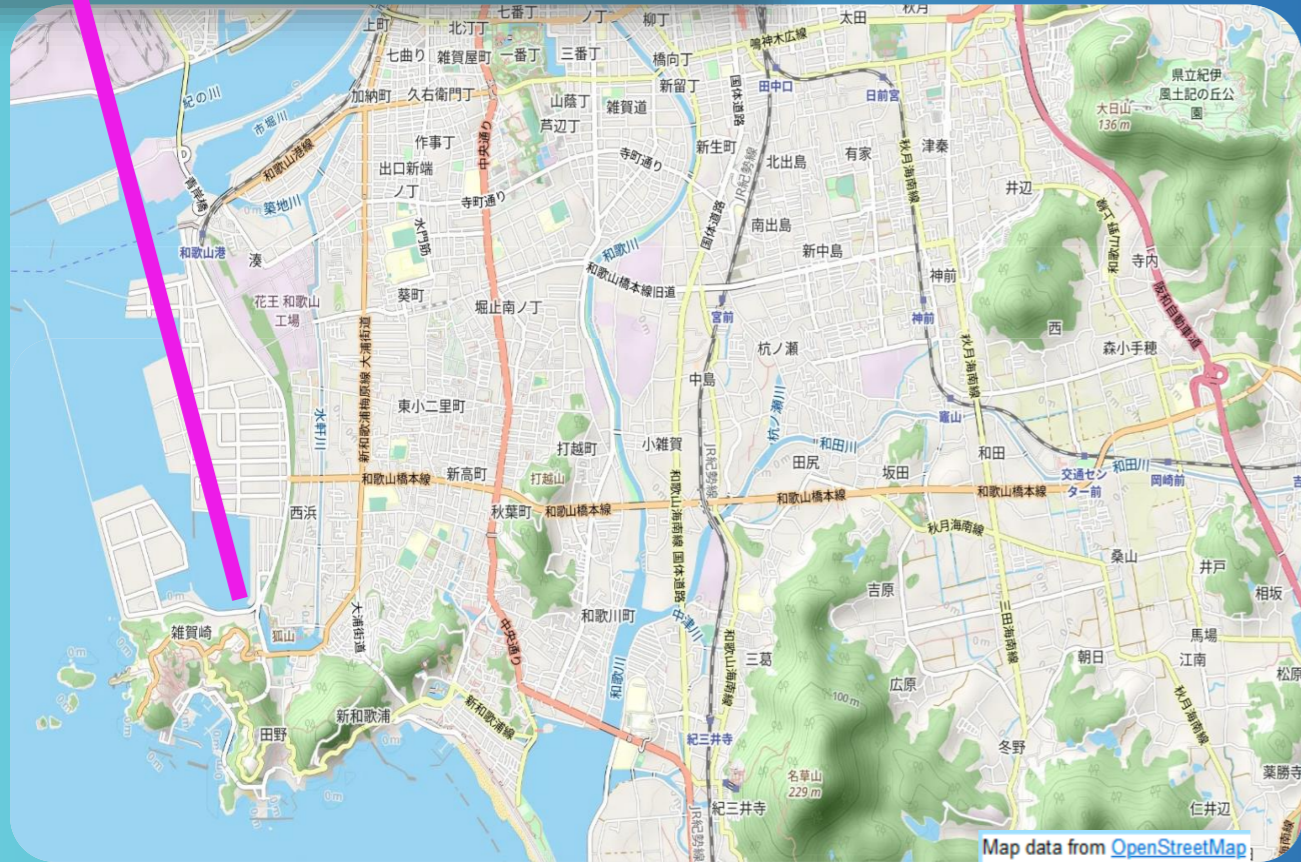




さいかざき 雑賀崎

幼稚園 小学校 一貫教育

3歳から12歳（6年生）まで、
9年間連続性のある「学び」を



〒641-0036
和歌山市西浜1148番地

和歌山市立 雑賀崎幼稚園

TEL (073) 445-3112

和歌山市立 雑賀崎小学校

TEL (073) 444-0048

雑賀崎（幼小）における一貫教育を推進するため、雑賀崎幼稚園を卒園する園児等は、雑賀崎小学校区外在住であっても、希望すれば、雑賀崎小学校へ通学できます。

●区外通学が認められる児童

- ① 雑賀崎幼稚園を卒園する園児
- ② 雑賀崎幼稚園への在籍履歴がある児童（すでに他の小学校へ就学している児童を含む）
- ③ ①または②で雑賀崎小学校へ区外通学する児童の兄弟姉妹

詳しくは、和歌山市教育委員会 学校支援課、雑賀崎幼稚園、雑賀崎小学校までお問い合わせください。

お問い合わせ先:073-435-1139(和歌山市教育委員会 学校支援課)



和歌山市立
雑賀崎幼稚園



和歌山市立
雑賀崎小学校



雑賀崎幼稚園の園児は、校区外にお住まいでも、ご希望により雑賀崎小学校に通学することができます。

和歌山市立雑賀崎幼稚園・小学校一貫教育

幼小一貫 教育目標

『未来に向けて志をもち、
自分らしさを発揮できる子を育成する』

幼小一貫 めざす子供

- ◎ 感性豊かな心をもつ子
- ◎ 自他を大切にできる子
- ◎ 学びあい、育ちあう子
- ◎ 校区雑賀崎を愛する子

雑賀崎幼稚園の特色

- 子供の「やってみよう！」という主体性を大切にしながら、好奇心をくすぐり探求心を育む保育を展開しています。
- 一人一人の子供を大切に、それぞれの発達に応じた細やかな支援を行っています。
- 地域の豊かな自然に触れる園外保育を多く実施し、直接体験を大切にしています。
- 園内にはブルーベリー、レモン、ミニリンゴ、プラム、キンカンなどの実のなる木があり、畑では四季折々に様々な野菜を育て、食育につなげたり遊びに取り入れて楽しんだりしています。野菜を自分たちで栽培、収穫、調理して食べることで、五感がフル活用され豊かな感性も培われています。
- 普段の生活の中に小学校との関わりがあり、小学校生活への期待や憧れ、スムーズな接続繋がっています。
- ALT（小学校の外国語指導助手）やICTの活用を保育に取り入れています。

雑賀崎小学校の特色

- 複式学級では、少人数のよさを生かし、学年を越えた関わりの中で学んでいます。自分で学習の進め方を考えたり、見通しをもって取り組んだりする力、相手に分かりやすく伝える力が育ちます。互いに学び合う中で、落ち着いて考え、粘り強く最後までやり抜こうとする姿勢が身に付きます。
- 「校区雑賀崎」の海や山、漁業、地域の人々といった地域資源を生かした体験活動を通して、子供たちは自然に親しみ地域への愛着を深めています。地域の方々との関わりながら学ぶ中で、豊かな感性や命を大切にできる心が育ち、自ら考え、進んで学び行動しようとする力を養っています。
- 縦割りグループの「つみきグループ」での活動を通して、上級生は下級生を気づかい大切にしようとする心や役割を果たす責任感を育みます。下級生は上級生に憧れながら安心して活動し、互いに支え合う関係が築かれます。集会や行事を通して、協力する力や主体性を身に付け、周りのことを考えて行動できる、温かい心をもった子供を育てます。

雑賀崎幼小一貫の取り組み

幼児期の遊びを通じた学びと
各教科等における単元等のつながり例（生活科・総合的な学習の時間）



幼児期の遊びを通じた学び
「生きる力の基礎を育む」

遊びや園生活の豊かな経験の中で、次のようなことが育まれていきます。
○感じたり、気付いたり、分かたり、できるようになったりする「知能及び技能の基礎」
○考えたり、試したり、工夫したり、表現したりする「思考力、判断力、表現力等の基礎」
○心情、意欲、態度が育つ中でよりよい生活を営もうとする「学びに向かう力、人間性等」

校区さいかざき
みんなのまちたんけん



《幼・小1・2年合同の活動》
町探検、栗拾い体験、渋柿とり、吊るし柿作り、野菜の栽培・収穫、学校探検など

《幼小合同・つみきグループ活動》 運動会、発表会、秋季遠足、稚魚放流体験、交流給食、夏の集会、冬の集会、地震・津波避難訓練

『校区雑賀崎』を題材として、幼小一貫教育における「複式先行体験型問題解決学習」を通して、自ら課題を発見・解決し、発信する。

生活科

さいかざき
いいところ見つけたい
おもしろいところ見つけたい

地域に根ざした体験を重視し、幼児教育との橋渡し、総合的な学習への序章として位置づける。（先行体験学習）



総合的な学習の時間

さいかざきまっぴ
しらべたい
とどけたい

地域についての理解を深め、「ひと・もの・こと」をつむぎ、郷土の絆を育む。



社会科と合科して、地図学習の中に地域の良さを組み込み、ICTを活用して全校に向け発信する。

海の恵み
命を育もう
さいかざきとともに
昔・今・未来に向けて

稚魚放流リーダーとして、魚の成長や産業について調べる活動を通して、和歌浦湾の漁業集落に見る歴史的風致について理解し、保全継承に取り組む素地を育む。
9年間のまとめとして、郷土の良さをまとめ、発信しリーダーとして活動する。



研究保育・研究授業

幼小合同研修を年間通して実施しています。お互いの保育や授業を公開し、研究協議会を行い、学びを深めています。

学校運営協議会「コミュニティ・スクール」

幼小合同で学校運営協議会を開催し、委員の方々やPTA、地域の方々の意見をいただきながら、より良い園・学校運営に努めています。

和歌山市教育委員会より

雑賀崎小学校は、全児童数が約30人規模（※）の小規模校であり、これまで一人一人の教育的ニーズに応じたきめ細やかな教育の実践に取り組んできた学校です。※全児童数：26人（令和7年5月1日時点）

令和6年度から雑賀崎地域の特色をいかした新たなプロジェクトとして、学校（園）と和歌山市教育委員会が協力し合い、学びの連続性を重視した幼・小一貫教育の実施について、その在り方や教育活動について検討し、取組を始めました。幼稚園舎と小学校舎が隣接する配置にあり、また、これまでも小規模校ならではの幼稚園と小学校間の連携を積極的に図ってきた土台があることから、学校の魅力向上の取組として「幼・小連携教育」をステップアップさせた「幼・小一貫教育」を実践することにより、今後、一層の特色ある教育活動の充実と「魅力ある学校づくり」の実現につなげていきます。

- 【一貫教育に期待する効果】
- 進学時の不安が和らぐなど「小1プロブレム」の解消
 - 小規模校ならではの異学年や地域の方々との交流により、子供の精神的な発達や個性の伸長、豊かな人間性・社会性の醸成
 - 共通の「めざす子供像」のビジョンや教育目標を保護者、地域と共有、連携しながら、それらを実現させることにより、学校・家庭・地域間の一層の相互理解や信頼関係の深まり
 - 幼稚園・小学校間の教職員同士の連携の深まり

お問い合わせ先：073-435-1135（和歌山市教育委員会 教育政策課）



雑賀崎灯台へ探検



吊るし柿作り



幼小合同発表会



幼小合同運動会



稚魚放流体験



冬の集会